

位置情報ゲーム配信から4か月で明らかになった問題

7/22に配信が始まったスマホ向け位置情報ゲームに関する諸問題を一覧にしました。

配信日の前日に出された
内閣サイバーセキュリティセンターからの注意喚起文書



内閣サイバーセキュリティセンターから みんなへおねがい♪

ロケット団だけでなく、みんなの行く手にはさまざまなトラブルが待ち受けています。みんなが楽しくニコニコとゲームを楽しめるように、以下のことについて協力してね！

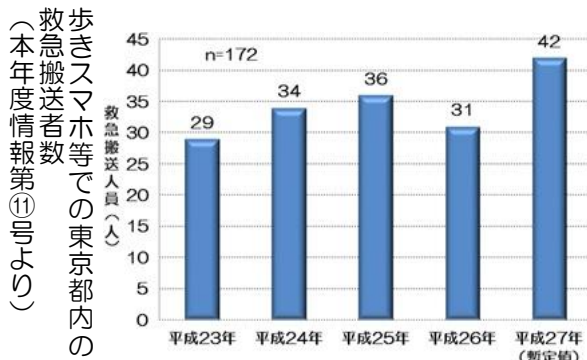
<h3>1. 個人情報を守ろう</h3> <p>トレーナー登録するときは、本名とは違う、いかしたニックネームを付けましょう。ニックネームに本名がわかるものを使うと、あなたを追いかけようとする人が出てくるかも。 SNSに写真を投稿するときは、家の近くのものやめておきましょう。家が特定されます。 また写真にはGPS情報が付かないように設定しましょう。</p>	<h3>2. 偽アプリ、チートツール注意</h3> <p>人が多く集まるコンテンツは、悪いハッカーには絶好のターゲット！マルウェア(ウイルス)入りの偽アプリがあったり、攻撃のいどちになるチートツールも登場するでしょう。「裏技があるからここを見て！」というも悪かも。 また、アプリは公式ストアから正規のものを利用しましょう。</p>	<h3>3. お天気アプリは必ず入れよう</h3> <p>外で遊ぶゲームだからこそ、天候には十分注意しましょう！ 警報を受信できるお天気アプリを必ず入れて、警報などが出た場合はハンデリングをお休みしましょう。 特に「特別警報」は「ただちに命を守る行動」が求められます。 また海岸沿いの探索は、常に避難場所を気にかきましょう。</p>
<h3>4. 熱中症を警戒しよう</h3> <p>炎天下を歩き回るときは「熱中症」を警戒しましょう。熱中症の症状をよく勉強して理解し、定期的に日陰での休憩や、塩分を含む水分摂取を行います。水だけを飲んでいては×です。 帽子や日傘などは有効です。 汗をかいたときスマホを服の中に入れておくと湿気が入ってしましますが、みなさんはスマホを手につけて大丈夫です。</p>	<h3>5. 予備の電池を持とう</h3> <p>位置情報ゲームは常にGPS情報を利用するので、大量に電池を消費します。そのためいつもより早く電池切れになってしまいます。 スマホはゲームだけでなく重要な連絡手段でもあるので、電池切れで電話ができなくなったりしないように、予備の電池(モバイルバッテリー)や充電器を持ち歩きましょう。 休憩時にコンセントを使わせてもらえらるなら、きちんと許可を取ってこまめに充電を行きましょう。無断利用はダメです。</p>	<h3>6. 予備の連絡手段を準備しよう</h3> <p>スマホの電池がなくなると、電話をかけられなくなった時のために、テレホンカードを持ち、公衆電話の使い方を調べておきましょう。 子供たちだけで出かけるときは、迷子になってしまったときのため、出発前らババがスマホに全身の写真を撮ってもらっておきましょう。 探しても見つからない、特報を伝えてもらいやすくなります。</p>
<h3>7. 危険な場所には立ち入らない</h3> <p>すでに開始されている園では、ゲームをやりながら歩いていて、車にひかれたり、池に落ちたり、蛇にかまれたり、強盗にあったりという事件が起きています。地形や治安が危険な場所には立ち入らないようにしましょう。 園によっては発砲事件も起きていますし、カメラを向けただけで拘束される場所もあるので海外では注意しましょう。</p>	<h3>8. 会おうという人を警戒しよう</h3> <p>ゲームにかこつけて会おうという人には十分に警戒してください。どうしても会わないといけないときは、おとなと一緒に行きましょう。 また人気がない場所での探索は避けましょう。別の意味でのモンスターがいるかもしれません。</p>	<h3>9. 歩きスマホは×ですよ</h3> <p>歩きスマホをしていて皆さんの事故が起っています。駅のホームでは電車で接触してけがをした例もあります。ゲームにはモンスターが隠れるとスマホが震えるモードもあるそうですから有効活用して、震えたら立ち止まり、周囲を確認してから見るようにしましょう。 自転車に乗りながらのプレイももちろんダメですよ。</p>

● 「運転中にスマホ」で事故多発

- ・(8/23) ゲームをしながら自動車を運転。前方不注意で歩行者をはね死亡事故(7月配信の位置情報ゲーム使用中による初の死亡事故)
- ・(10/26) 9歳の少年が、自宅からわずか250mの横断歩道で、ゲームをしながらトラックを運転していた男によりはねられ死亡
- ・(10/31) ゲームをしながら車を運転し死傷させたとして、過失運転致死傷の罪に問われた男に「単純な過失と一線を画す」として実刑判決
- ・(11/15) 国会内でも、スマホを操作しながら運転することによる死亡事故の発生を受け、運転中のスマホ使用への厳罰化も視野に、道路交通法改正を含む事故防止策の検討等の議論が始まる

●「歩きスマホ」

・歩きスマホをしていたところ、**クマの接近に気付かず**数メートルの距離にまで接近。(7/22 北海道)



(本年度情報第14号より)

1,500人が「歩きスマホ」しながら渋谷スクランブル交差点を横断した場合の検証CG動画によると、最初は小さな回避や衝突が、やがて多くの横断者が横断できないという混乱につながっていくことがわかります。

この動画の結末は、「横断に成功した人は半分もない状態になる」というものでした。多くの人が衝突、転倒などで時間内に信号を渡れません。

衝突	446件
転倒	103件
スマホ落下	21件

●チート行為、闇アプリ

ゲームの利用者が、一斉に移動し通行を妨げる等のトラブルが相次いでいる問題で、一部の非公式アプリやサイトが一因であることがわかった。

その1つが、キャラクターの種類・出現場所や期間を地図上に示すアプリで、これを使えば、移動の手間を省け時間を節約できるとのこと。運営会社ではこのようなアプリを「不正ツール」と位置づけ対応策を検討中。

(参考：9/24 毎日新聞)

●どさくさに盗撮

今回配信されたゲームは、カメラを通じてキャラクターを現実世界の写真の中に出現させるもの。ということは、公の場所でカメラを構えていても、「ゲームしてるのかな・・・」で終わってしまうことになりそうです。そう考えると、ゲームのふりをして実際には盗撮されていることも・・・。注意が必要です！



●深夜徘徊



「みんな無言でうつむいて歩いて。映画のゾンビみたい」珍しいキャラクターが発見されたとの情報がネット上に流れた公園に、100名以上の若者が集まった場所での光景。

「人出は花見客を上回る。」

聖地と呼ばれる公園に夜間のピーク時に集まった人数は5000人。18歳未満の深夜徘徊も目立っており、中高生の補導も後を絶たない。

(参考：7/25 毎日新聞、8/29 中日新聞)

●不適切な場所での使用

- ・20代とみられる男性が熊本地震で被災した熊本城の**立ち入り禁止区域内に入ろうとした。**
- ・京都御所で、ゲームに夢中になっていた大学1年生の男子学生が塀に近づいたため、**侵入防止用の警報音が鳴り響く騒ぎがあった。**
- ・断崖絶壁の景観で知られる国の名勝・東尋坊では、スマホ画面を見ながら崖に近づく人が相次ぎ、中には岩場でつまずく若者もいる模様。
- ・原子力発電所内でもキャラクターが表示されることが判明したため、保安上の問題から表示区域から除外するよう要求する方針。(本年度情報教員向け・保護者向け第9号)

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 金森

☎:0776-20-0745 (直通) メール kenan@pref.fukui.lg.jp